



自分の進路を考える ～ 県立高校説明会 ～

29日(木)、3年生と保護者の皆様を対象に高校入試説明会を行いました。

各高校の校長先生や教頭先生方から、それぞれの学校の特色を直接聞くことで、高校生活に対するイメージを膨らませることができたようです。また、先生方からは「メモをとりながら真剣に聞く姿に真剣さを感じました。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

来週から始まる三者面談を通して、いよいよ卒業後の進路を決めていくこととなります。自分の夢や希望を大切にしながら、将来の職業や生き方そのものにつながるような、より良い選択ができるよう、じっくりと考えていきましょう。



「薬」と言っても、使い方を間違えると… ～ 薬物乱用防止教室 ～

28日(水)、薬物乱用防止教室を実施しました。今回お招きした講師は、学校薬剤師の金澤邦和先生です。今回は「薬の正しい使い方」というテーマで講義をしていただきました。

私たちが普段何気なく使っている市販薬。説明書をよく読まずに使ってしまうと、せっかくの効果が半減してしまうだけでなく、その用法を間違えると、体に悪影響を及ぼすこともあるとのことでした。薬とは、病気やけがの症状を緩和し、人間の持つ自然治癒力をサポートしてくれるもので、病気そのものを治してくれるものではありません。

薬を正しく使うことはもちろん、普段から健康管理に気をつけることが一番大切であることをお忘れなく。



朝会で、こんなお話をしました ～ 長所に目を向ける ～ ※一部抜粋

私たちは、人と接するとき、どうしても相手の短所にばかり目がいってしまう傾向があります。特に「なかなか人付き合いがうまくいかない」と感じるときは、この短所ばかりを気にしてしまっていることが多いようです。それがエスカレートしていくと、相手の短所を探す癖がついてしまい、いわゆる、粗探しばかりをしてしまいます。そして短所を見つけるたびに、相手の評価を下げたり抵抗感が強くなったりします。短所を探す癖があるので、どんな人と出会っても、最終的に付き合いにくくなってしまいます。

一方、人付き合いが上手な人は、人と出会ったとき、相手の長所を探す習慣があります。「相手のよいところはどこだろうか」とわくわくしながら、相手の長所を探します。そして「素直な性格だな」「言葉遣いが丁寧だな」など、長所を見つけることができる人は、それを素直に認め、相手を敬います。たとえ相手が年下であっても尊敬します。

この姿勢を続けていくと、相手の短所に気づいても、あまり気にならなくなっていきます。誰にでも短所はあるので、それをいちいち見つけて気にしたところで仕方ありません。「自分にも欠点はある。自分に他人を悪く言う資格はない」と考えて、相手の長所を十分尊敬していれば、相手と心地よい人間関係が作れます。

みなさんのほとんどの人が幼稚園からずっと同じ顔ぶれで生活しています。お互いのよいところ、悪いところも十分わかっているかもしれません。

だからこそ、あらためて互いに長所に目を向けた生活をしてみてください。きっと今以上に深く強い関係がつけられるのではないかと思います。



< 次週の予定 >

3	月	朝会 合唱練習(15:20~15:50)
4	火	県中体連陸上大会(市陸上競技場、~6日) ※ 古山大貴さん出場
5	水	Tタイム(漢検対策)
6	木	三者相談① 合唱練習(16:50~15:20)
7	金	第1回漢字検定(15:00~) 週番引継会

※合唱練習等、放課後の活動が入るため、下校時刻が変動的になっています。お迎えをされるご家庭は、事前にお子様と下校時刻の確認をお願いします。

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

落ち込んだっていいじゃん。
人生が終わったわけじゃないよ。
「明日」と「今日」は、全然違う。
また「新しい明日」をつくれればいいんだよ。



～ 昔、こんな風に励まされたことがありました。～